

会議の結果

件名	平成28年度第2回社会教育委員会議定例会
日時	平成28年7月20日(水曜日) 午前9時30分～午前11時50分
場所	田辺市民総合センター 2階交流ホール
出席者	<p>○社会教育委員 久保議長、高垣副議長、谷本委員、中本委員、三宅委員、近藤委員、西川委員、尾崎委員、松場委員、庄司委員、榎本委員 計11名 (欠席) 加藤委員、九鬼委員</p> <p>○職員 中村教育長、弓場教育次長 (生涯学習課) 杉若課長、山本生涯学習推進係長、坂本公民館係長、廣畑中央公民館主事、大倉中央公民館主事、竹邊生涯学習指導員、岡本主査 計9名</p>

1. 中村教育長あいさつ

梅雨も明け、今日は各学校で1学期の終業式が行われています。私が現場にいた頃は1学期は74日でしたが、今は68～69日です。それだけ、授業日数が短くなりましたので、1日の学習量は多いことになります。

5月17日の第1回社会教育委員会議定で近藤委員から質問のあったLGBTの件ですが、文部科学省が教職員向けに出した文書がございました。田辺市ではそれを受け、人権問題になりますので、人を大切にする教育の主任会、校長会や教頭会でも話をしています。現場の教師からは「らしきもの」はあるかもしれないが、本人や保護者からの申し出は無いのが現状であると聞いています。服装、髪型、更衣室、呼称などの問題、保健体育などでは別メニューの設定、水泳でも上半身が見えない水着の着用、修学旅行など様々なケースが考えられます。学校生活の各場面で一生懸命子供を見つめながら、悲しむ子供が出ないようにしなければなりません。私も勉強中ですし、現場の職員も勉強しながら子供達が楽しく学校生活を送れるよう考えていますので、併せて報告いたします。

また、世界遺産の追加登録ですが、ご承知のとおり、教育次長、文化振興課、観光振興課、企画広報課などは3連休も休みなしで準備をしていたところですが、トルコのクーデターにより丸1日審議ができず、10月のパリに持ち越しになりました。それぞれ準備していたのですが、何とか乗り切って10月を目指すことにしています。

本日も暑い中ですが、よろしくお願ひします。



2. 久保議長あいさつ

暑い中、また、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

私事ですが、1ヶ月前から家の周りを歩いています。車で通っていたときには感じなかったことが感じ取れています。近くの谷では平成23年の水害以降、ほとんどホテルが飛んでいないと思っていましたが、ホテルが飛んでいましたし、大雨の後の地域の状況であったり、自然を感じながら、いろいろな状況が感じられています。社会教育委員会議定でも現場に出ることの大切さを話してきましたが、これまであまり地域の変化など感じていませんでしたが、家の近くで少し歩くだけでも変化を感じ取ることができました。歩いたことで気付いた成果でもあります。7月29日に那智勝浦町の色川へも行くと思っていますし、これからも現場の声を聞く機会も増えてくるでしょうし、地域に出ることも増えてくると思います。それが、私たちの社会教育委員の活動としても大切な一つであると思います。

これからグループ協議もありますので、忌憚のないご意見とご協議をお願いします。



3. 説明事項

これより久保議長が進行を行う。時間設定等の説明を行った後、説明事項に入る。

- ・(1)平成28年6月議会の教育委員会委員の任命について、一般質問について、弓場教育次長から説明を行った。
- ・(1)平成28年6月議会の平成28年6月補正予算について、岡本主査から説明を行った。

4. 報告事項

- ・平成28年度田辺市学社融合夏季研修会について、竹邊生涯学習指導員から説明を行った。

【質疑応答】

[榎本委員]

質問では無いですが、来月リオオリンピック、4年後に東京オリンピックがあります。その東京オリンピックで海外からの直前合宿などを市全体で受入が可能かどうかを検討されてはどうでしょうか。いろいろ問題もあると思いますが、今後検討いただきたい。

[弓場教育次長]

東京オリンピックのパラリンピックについては、強化拠点施設としての受入を目指していますが、一般の競技についてはそこまで煮詰まった議論はしていません。お陰様で施設の利用者も増えてきており、地元の学校や県内外の強化合宿の受け入れも頑張っています。その隙間にどう入れるか。いき過ぎると地元の競技団体が使用できないといった問題も出てくるので、調整もしながら利用の促進に努めていきたいと考えています。

[尾崎委員]

ワールドカップラグビーは上富田町が手を挙げていますが、相当ロビー活動をしています。きた時の効果は相当大きいと思いますので、真剣に頑張るのであれば、早いうちから取り組む必要があると思います。

[庄司委員]

スポーツパークの利用のことですが、前の競技場と比べて競技している子供達との距離感が遠くなった。それは仕方ないと思いますが、参加児童に伝言したいときに相当な距離を歩いて伝えました。引率する側として参加してアクセスが悪く感じた。そのことで参考意見などがあれば教えてください。

[坂本係長]

前職がスポーツ振興課でしたが、実際、引率者も競技者と一緒に下りていくことが多いので、距離感での意見は直接受けたことは無かったです。観覧席と競技場の区別がされていますので、競技をする上では見る側はどうしても以前よりは遠く感じることも有るかもしれません。

[松場委員]

田辺市中央公民館主催の自分磨き講座の参加状況を教えてください。

[坂本係長]

定員15名で募集しましたが、男性は15名、女性は20名が申込をいただきました。先日の2回目でも男女ともに13名ずつ参加していただきました。

[西川委員]

情報提供です。田辺でもひなた塾が子供の貧困問題を受けて学習支援の塾をされています。貧困者限定と言い過ぎると通っている子がそういう風に見られるため、門戸も広げられず、また塾の代わりと言ってしまおうとやりにくいといったジレンマを抱えているみたいです。委員の皆さんの周りにそういう子供がおられたら、田辺でもこういう塾があります。申込はサポートステーションか、ハートツリーに言っていただけたらと思います。小学校4年生から高校生まで募集していますが、全て受入にすると無料で行ける塾と見られても困りますし、その選別も難しいという話も聞きます。スタートしたばかりなので情報提供です。



<中村教育長、弓場次長 退席>

5. 協議

- (1) 今後の生涯学習推進計画の策定スケジュールについて、(2) グループ協議について
岡本主査から説明を行った後、協議を行った。

[主な協議内容]

- (1) 今期の社会教育委員会議のスケジュールについて
- (2) 今後の取組を進める上でのテーマについて

【意見交換】

〔庄司委員〕

グループ②のことですが、生涯学習推進計画があつて、素晴らしい計画ではあるが、現場的にはそうはなっていないという現実もあると聞いている。机上の空論になっていないかということ、実際に現場に出て、直接実施している人の生の声を聞く必要がある。例えば、論的には計画自体は素晴らしくても現場ができていないのは、それは怠けなのか、やりたいができないのか、その実情を聞いておかないと平行線を辿ると思う。2つの点で直接従事している人の声を聞いて、計画が妥当なのか、背伸びしていないか、もっと改善して良いものにしていく必要があるのではないかと、そういう狙いを明確にしてやっていけば必要となるところにたどりつくと考えています。



【グループ協議】

3グループに分かれてグループ協議を行った。終了後、各グループチーフから報告を行った。

グループ①



グループ②



グループ③



【グループ協議の内容報告】

グループ② 現代的課題と人づくり <久保議長、尾崎委員、庄司委員、榎本委員>

〔久保議長〕

主事会に参加して、意見交換の中でどういうことを感じたかの話を進めていく中で、今までは、中央に生涯学習推進計画があつて、各地域に下ろしているような現状ではあるが、それぞれの地域に違いがあつて、違う問題があるので、各地域で考えることが一番大切なのではないかという話になりました。これから計画を立てる中で、計画のあり方、立て方、主人公となるものを十分に地域で考えて計画を策定していく必要があると思っています。また、主事会の皆さんの発表などは聞くと、責任感と意識をもって取り組んでいると感じています。主事のレベルアップを図るには横のつながりを大事に切磋琢磨しながら進めていくことが必要であり、計画のあり方を考えることと平行してやっていくことが必要だと思っています。



続いて、以前から計画をしている集落支援員との意見交換について話し合いました。旧町村の4箇所をまわるか、意見交換会の持ち方をどうするか、集落支援員の話だけで良いのか、活動風景を見るほうが良いのか、など話し合いました。広域の中で4行政局の集落支援員に集まってもらうのは申し訳ないので、今回は大塔地域の集落支援員さんと8月後半の週で調整することで話は決まりました。意見交換の内容は、集落支援員としてしたいけどできないこと、現状の問題点、視点を変えてやりがいのあること、支援員としての意義などを感じている部分などプラスとマイナスの視点を持って話を聞いてみたい。集落支援員との意見交換を中心に地域の現状把握に努めたいと考えています。

グループ① 青少年、子育てと人づくり<高垣副議長、中本委員、三宅委員>

[高垣副議長]

子供の居場所について話をしました。放課後子ども教室や学童保育の事業の違いなどの資料をもらい、説明もしてもらいました。紀伊民報でも掲載されていた夏休み龍神スクールが始まるということで、龍神で始まるようになったいきさつ、保護者の方の熱い思いや、サークルを立ち上げた経緯などを勉強して、良い部分が他の地域にも広がっていけばと思っています。鮎川ふれあいスクールも長年続いていて、面白い取組ができていると聞いているので、併せて8月中旬に日程調整をしていければと思っています。子供を預かってもらって、勉強をみてくれるといった事業をすることで、保護者が楽で良いというだけで終わらないように、保護者に対する働きかけも大事になってくると思いますので、そういう部分も重点的に聞き取っていければと思っています。



グループ③ 地域づくりと人づくり <西川委員、谷本委員、近藤委員、松場委員>

[西川委員]

人口減少時代の人材増戦略が大きな命題となっております。地域を担える人材をどう育成していくかですが、まずは、これまで8年間の人材育成講座の点検として、受けた人がどう変化してきているのか、地域でどう関わっているのか、講座の効果や変容を追いかけるということになりました。もう一つは、I・Uターンの人の思いを聞きに行くということで、今日は用意した色川の資料や情報を読んで、理解できた部分や納得した部分は聞かない。それ以外で聞きたいことを今週金曜日までに作るという宿題にしました。このチームは今後の育成事業を試験的に行うこととなりますので、個人的には稲成でやりたいと考えています。どういう人材が大事なのか。主権者市民的、自覚的市民がほしいという話をし、今の現状に疑問を持つ人、キーパーソンになる人、参謀役になる人、4番バッターばかりではなくバントのできるようなつなぎ役のできる人、調整力あるコーディネーターのような人、役割分担の出来る人、未来を読み解く目を持つ人などがいるといった話も出ました。人口が減ることでの問題は人口構成がガラッと変わることです。人口が減ることで、独居老人が増えるということにもなると、地域でやらなければならないことは変わってくる。子供の数が減り、独居老人が増えるのであれば、子育て支援よりも独居老人対策をしなければならないかもしれない。そういった講座やワークショップをする場面を作りたい。それと同時に、できれば地域のたな卸しではないが、担い手が少なくて困っている事業などはやり方を変える方法などを提案は難しいが、そういうことを感じられるような人材育成講座が必要ではないかと考えています。この部分は今後高めていきたいと思っています。



6. その他

- ・今後のスケジュールとして、7/29 那智勝浦町色川地区への視察、9/9 近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）について、第3回定例会について、事務局から説明を行った。

7. 閉会

高垣副議長から閉会の挨拶を行った。

お疲れ様でした。東京都知事選がクローズアップされていますが、3人だけが取り上げられていますが、これは失礼な取り上げ方だと思います。最近のメディアのあり方や方向性には疑問を持っています。社会教育委員会議会はそういったことにならないようにしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

